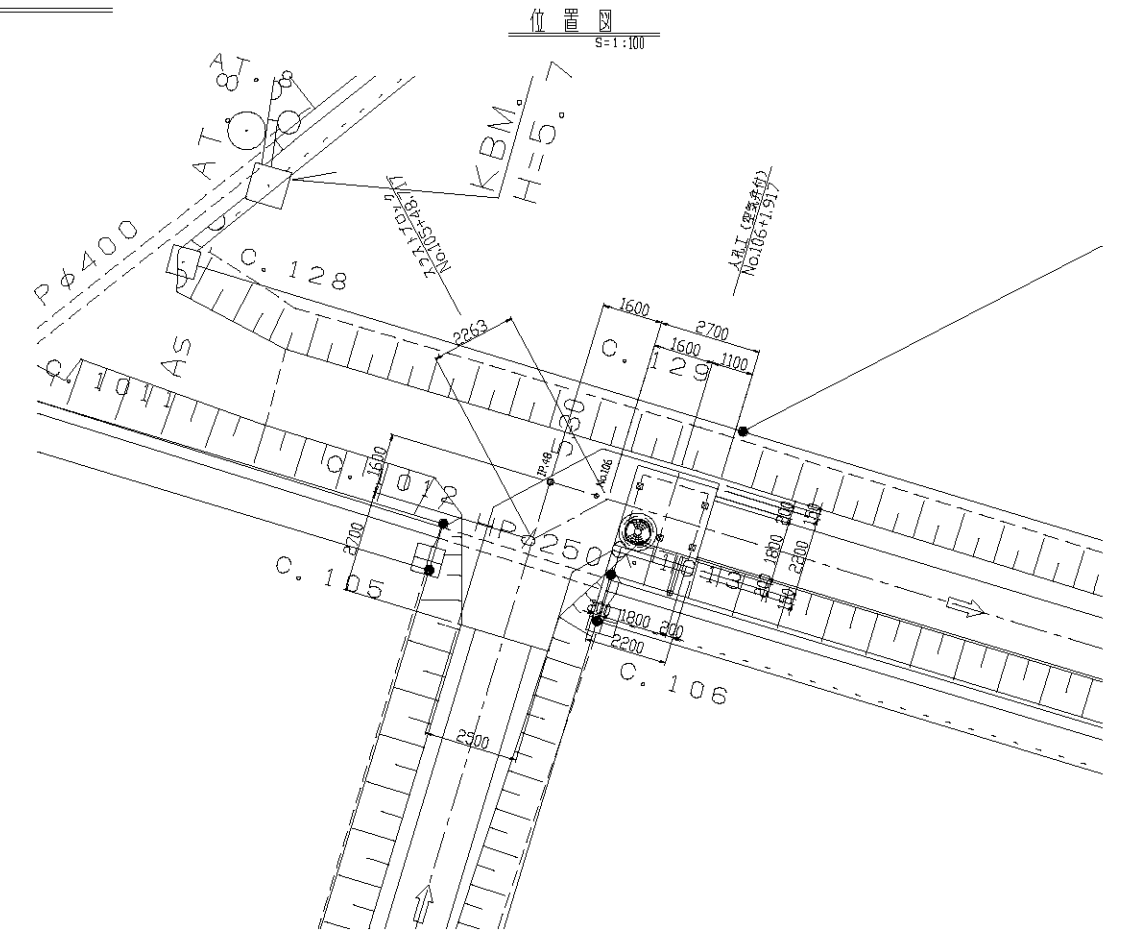
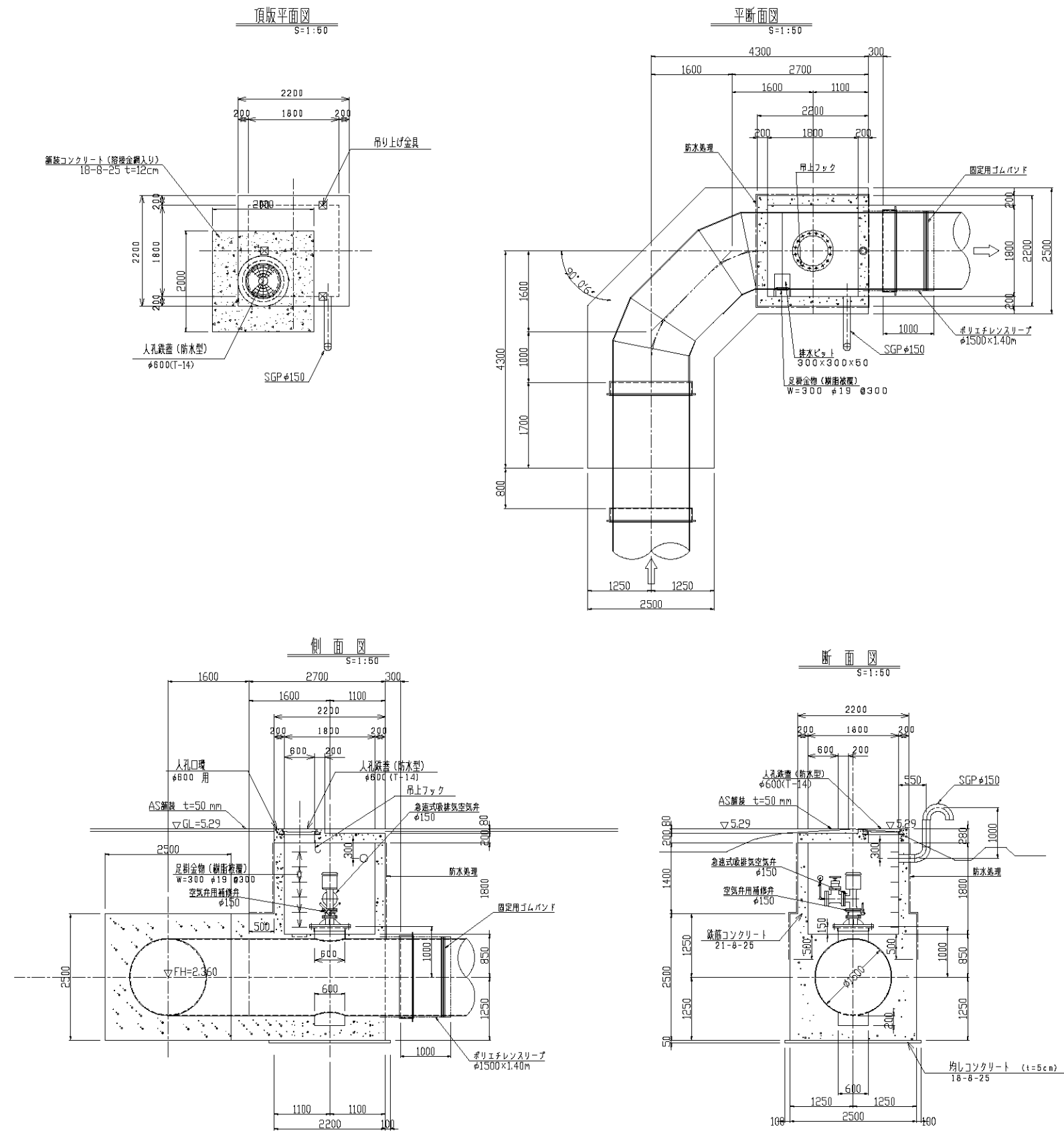
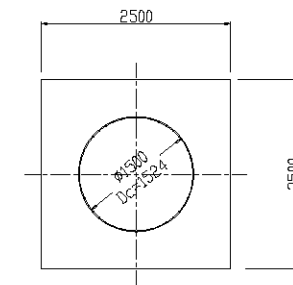


施設名	東部幹線用水路 (O312100-1100-03)		
図面名	縦断平面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 1:1,500 A2 1:1,707 V:1:100 V:1:141	図面番号	6-18/106
作成者	関東農政局 南総農業水利事業所		

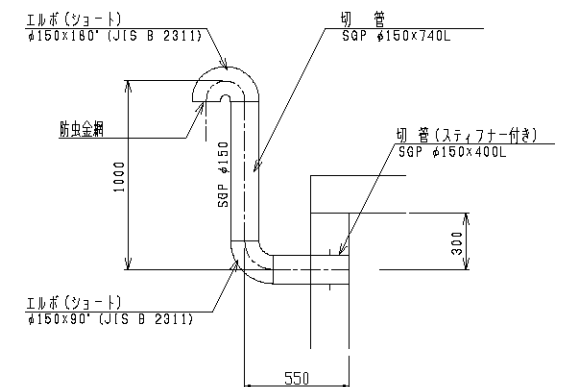
4-1号排泥工構造図



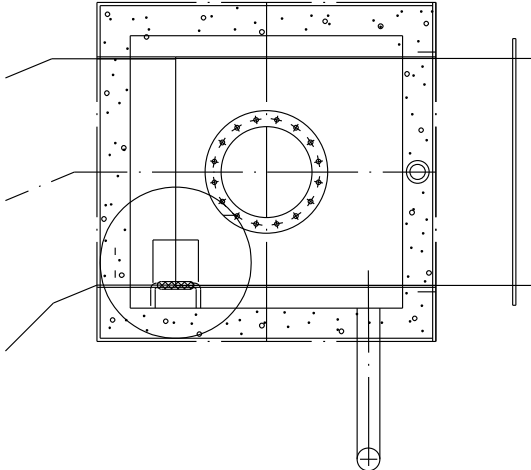
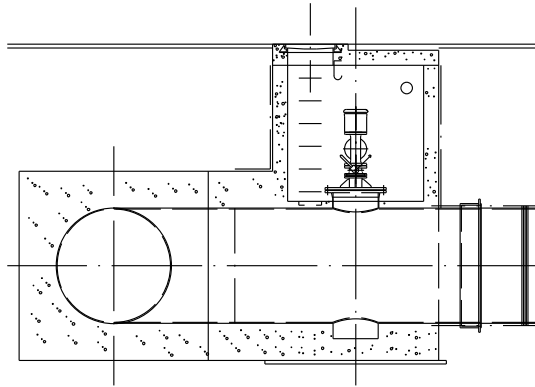
スラストブロック 断面図 S=1:50

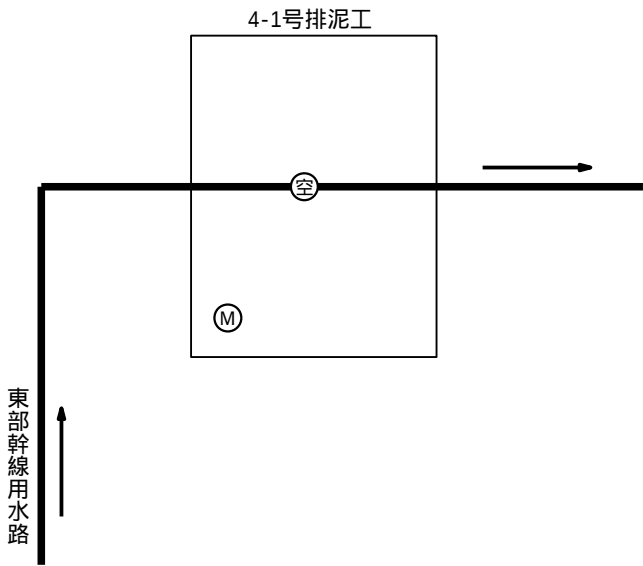


空気抜き詳細図 S=1:20



施設名	東部幹線水路 (0312100-1100-03)		
図面名	4-1号排泥工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	8-27/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

排泥工番号			4-1号排泥工		路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 33 ' 45.11 "	
					関連事業名				経度		140 ° 24 ' 12.83 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	2,740 (2,050) 1,440 (1,010) 4,180 (3,060)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 3.44m ³ /S	施設容量 3.44m ³ /S	排泥工付近 標高(m)		地盤高 管中心高		5.29 2.36	
							国営幹線 水位(m)		静水位 動水位			
概要			受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、 下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。 排泥工は東金市道3178号線下に設置された地下埋設施設である。市道3178号線の右折カ所に立つ 通気管と弁室人孔（マンホール）が目印となる。									
平面図			縦断面図									
												
			弁室人孔（マンホール） 4-1号排泥工の弁室はこのマンホール内。 内部に空気弁φ150mmが設置されている。 排泥作業はこのマンホールから行うとともに、 東部幹線本管の管理用人孔も兼ねている。 									
留意事項			類似構造の排泥工（空気弁φ150mm）が下流に3カ所存在するが別紙一覧表での整理により平面図・縦断面図は省略した。 各排泥工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。									

排泥工番号	4-1号排泥工	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 33 ' 45.11 "						
		関連事業名		経度	140 ° 24 ' 12.83 "						
説明図	管理施設・配管・模式図										
											
<table><tr><td colspan="2">凡 例</td></tr><tr><td>空 気 弁</td><td>⊙空</td></tr><tr><td>マンホール(人孔)</td><td>⊙M</td></tr></table>						凡 例		空 気 弁	⊙空	マンホール(人孔)	⊙M
凡 例											
空 気 弁	⊙空										
マンホール(人孔)	⊙M										
【排泥弁について】 4-1号排泥工の構造は空気弁据付タイプであり、排泥作業は以下の手順により行う。 1. 空気弁副弁を開にして本管内の水位を低下。 2. 空気弁フランジ蓋を取り外す。 3. フランジ孔から管内へ水中ポンプを下ろし弁室外へ排水する。											

「排泥工」

上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画Ⅰ、東部幹線に寄る受益面積)、
下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



5号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ 150mm)



5-1号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ 150mm)



5-2号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ 150mm)